

八中3年人権だより

徳島市 八万中学校
3年生 第1号
2024年 4月22日
編集・文責 吉成正士

峠

真壁 仁
まかべ じん

峠は決定をしいるところだ。
峠には訣別のためのあかるい憂愁がながれている。
峠路をのぼりつめたものは
のしかかってくる天碧に身をさらし
やがてそれを背にする。
風景はそこで綴じあっているが
ひとつをうしなうことなしに
別個の風景にはいつてゆけない。
大きな喪失にたえてのみ
あたらしい世界がひらける。
峠にたつとき
すぎ来しみちはなつかしく
ひらけるみちはたのしい。
みちはこたえない。
みちはかぎりなくさそうばかりだ。
峠のうえの空はあこがれのようにあまい。
たとえ行手がきまつていても
ひとはそこで
ひとつの世界に別かれねばならぬ。
そのおもいをうずめるため
たびびとはゆつくり小便をしたり
摘みくさしたり
たばこをくゆらしたりして
見えるかぎりの風景を眼におさめる。

みなさん、3年生への進級おめでとうございます。今年もみなさんと一緒に人権学習ができることになり、本当にうれしい気持ちでいっぱいです。3年目の人権学習、どうぞよろしくお願いします。

新しい教室はどうですか？慣れましたか？クラスの雰囲気はどうですか？今回、進級して早々に全体学習をすることにしました。そのことを通して、中学校生活最後の年への決意をみんなで共有し、スタートさせられればと思います。

今回の資料は上にある、真壁仁という方が書かれた詩「峠」です。これは私が学級担任をしていたころ、1年の節目節目で、いつも大切に学び合ってきた資料です。

読んでみてどうだったでしょうか。少し難しかったでしょうか。分かりにくいところもあったかもしれません。でも詩ですから、何度も何度も読み返しながら、それぞれの感性で感じ取ってもらえれば、それで構いません。

今回みなさんに問い、学び合いたいことは、次の二つです。

1. あなたはこの詩のどの言葉に惹かれますか。それはどうしてでしょうか。

例えば、「訣別、ひとつをうしなう、大きな喪失、わかれ」…あなたがこれまで経験した、またはこれから経験する「別れ」について語ってください。

例えば、「明るい憂愁、すぎ来しみち、ひとつの世界、見えるかぎりの風景」…あなたの失敗や成功、悲しみや喜びなどの、「思い出」について語ってください。

例えば、「別個の風景、あたらしい世界、ひらけるみち、行手」…あなたが思い描く「夢」について語ってください。

2. いよいよ中学生生活最後の学年となりました。このような学習ができるのもあとわずかです。今のあなたにとって、「峠」とはなんのでしょうか。あなたにとって、このような「人権学習」の時間にはどんな意味がありましたか。自由に語り合いましょう。



思い返してみれば、人権全体学習だけ見ても、いろいろな学習をしてきました。「自分を語る」ことの大切さ、SDGs、東日本大震災から防災について、戦争と平和、「さとうきび畑の唄」、修学旅行、ハンセン病。

また、「日本の人権獲得の歴史」については、中世から近世、近代にかけて、又四郎や龍安寺の石庭・つくばいの「吾唯足知」。また最近では水平社について学んできました。もしかすると、各教室ではもっとたくさんの方のことを、それぞれ学んでいるのかもしれませんが。

今年もまた、新しい教科書が配られました。無償で配られることの意味を書いたプリントも配られました。



これは、小学校1年生に配られる教科書を入れる袋です。

実はその意味が本当に分かるのは、中学3年生になってです。人権学習の教科書「わたしの願い」で、「日本の人権獲得の歴史」の現代を学ぶ時がくるでしょうが、そこによく詳しいいきさつが書かれています。つまり、その意味が本当に分かるのは、この学年になってからののです。

「教科書無償化運動に学ぶ」以外にも、「日本の人権獲得の歴史 現代」には次のようなタイトルが並んでいます。

どうわたいさくしんぎかいとうしん どうわしやうがくきん

「同和对策審議会答申」、「同和奨学金制度を考える」、「識字活動」

また戦後、日本の人権がどのように獲得されてきたのか、部落差別がどんな道をたどり、どんなことがあったのか、そこにどんな生き様があったのかをあらわした資料も、次のように載っています。

ねう

「人の値打ち」、「わたしの心」、「手紙一タやけがうつくしほー」、「つなげ 三番叟まわしのこころ〜門に立ち言祝ぐ人々「福」招く〜」、「ふるさと」、「娘の遺してくれたもの」、「部落地名総鑑について」、「許せない就職差別」「就職差別につながるとされる14項目」

「部落地名総鑑」については、2年生の時に「いろめがね」というドキュメント番組を観てもらったクラスもあったかと思います。

また、「新しい道徳」には、「峠」という資料も掲載されています。

これらの資料一つ一つを紹介し、みんなと学び合いたい気持ちでいっぱいです。そのすべてが無理でも、せめて朝学習や読書の時間に、主体的に読むだけでも読んでほしい気持ちでいっぱいです。



これからの1学期間、いろんな取り組みをしていきます。

- 27日の授業参観…お家の方にどんな姿を見てもらいますか。それを特別ではなく、日常の姿にしてください。
- 中学生集会実行委員会…あなたはもう自分で人権について主体的に学んでいく準備はできていますか。

より広い視野から共に人権について学んでいきませんか。

- 春の大会…仲間と本当に力を合わせられる関係はできているでしょうか。結果の一つ一つに一喜一憂しない、揺るぎない精神力は身につけているでしょうか。
- 実力テスト…大切なのは日常です。人権学習も受験勉強も同じです。学び続けることを学ぶのです。
- 体育祭…得意もあれば不得意もあります。できることに全力を尽くすことです。大切なことは、互いへの信頼と尊敬です。
- 進路調べ…GW期間中の合間に、自分が関心を寄せる進路先について調べておきましょう。体育祭後にレポートにまとめてもらいます。
- 各部最後の大会・コンクール…ミスは起こるものです。その前提に立って、ミスをどうカバーするか、カバーし合うかです。その前提があれば、恐れることはありません。どうすればいいかを実行するだけです。ミスをすれば、謝ること、許すこと、感謝すること、励ますこと、讃えること、声を掛け合うことです。つまり、対話していくことです。
- 人権作文意見発表会…この2年間の記録を、みなさんの成長を、思いのすべてを、自分の言葉として表してみましよう。
- 夏休みの体験入学…周囲の噂や情報に振り回されないためにも、多くの進路先に実際に出向き、知り、自分の目で見て確かめることです。



山登りは、本当に苦しいことが多いものです。山登りを経験した人なら、詩「峠」の意味が分かるかもしれません。

苦しくて、しんどくて、途中で休んだり、また仲間に支えられたり。それを紛らすために他愛もない話をしてみたり。足元の草花に目をやったり、青空を見上げたり。山の天気は変わりやすいですから、急に霧が出たり、雨に襲われたりすることもあります。鳥のさえずりに心とまされ、鹿の登場に驚かされ。分かれ道に出くわしては悩み、下り道に喜んだかと思えば、断崖絶壁に慄き。同じ道に還ることがなければ、その景色は一瞬で、もう二度と出会うことはありません。行き交う人との出会いはあるものの、行き先が違う以上、同行していた人との別れも必ずあって、それはまるで人生そのものです。

みなさんのなかにある一つ一つを、みんなと共有しながら、私たちに生まれた絆が確かめ合える時間にできればと思います。

